

環境に配慮した製品の開発 ①

廃棄した化粧品が環境を汚さないために

コーセーでは企画設計エコ指針の中で、「使用中の商品、宣伝物、販売促進物等、およびその廃棄物が人体や環境を汚染しないこと」を掲げています。この考えに基づいて、製品の開発にあたっては原料等の選択段階から環境への保護に配慮しています。

生分解性原料の積極的使用 ①

●洗顔料やシャンプー等の洗浄剤として、万一河川に排出されても自然界の微生物によって分解されやすい生分解性のアミノ酸系原料を使用しています。コスメデコルテ、ポーテドコーセー、コーセー、コーセーコスメポートなどほとんどのブランドで採用していますが、2008年度はソフティモ ホワイト薬用洗顔や雪肌精シュープレム 洗顔クリームをはじめ17品が追加されました。

ティアテープや

シュリンク包装を推進 ②

●使用後の廃棄量を少なくするためにも、ティアテープやシュリンクフィルムによる包装を積極的に実施しています。輸送用に使われる従来の1個箱からの切り替え、2〜3個まとめた包装も進めています。特にティアテープはダンボール箱に比べ、化粧水等の製品2個入りの場合で約1/11(当社比)の減量効果があります。

包装を簡素化した

詰め替え容器 ③

●原料使用量の抑制や使用後の廃棄量の低減のために、詰め替え用製品も積極的に発売しています。スタンディングパウチをはじめ詰め替えボトル、詰め替えボックスなど製品の内容に合わせて最適な形状を採用しています。2008年度もハッピーバスデイ プレシャスローズ ボディソープやソフティモ ホワイトボディソープなど6製品が追加されました。

樹脂使用量の半減容器 ④

●原料や材料の使用量を低減するために、デザインだけでなく設計方法にも工夫をしています。特にファンデーションのレフィル容器は、設計方法の変更によって樹脂使用量が半分で同じ効果を持つ容器を開発しました。また、サンプル容器のパッキンレス化を進めたり、PET樹脂のコート厚を25ミクロンから12ミクロンに変更して削減を行っています。

用時混合製品の新容器を開発 ⑤

●使う時に2つの化粧品を混ぜ合わせて使用する用時混合型の製品は、その特長から包装容器が複雑化しがちでした。2008年度に発売したプレディアスパエメールフレッシュスパマスクは新しい2連型容器を開発しました。使いやすさを格段に改良したほか、包装資材の使用量も従来の半分以下となりました。



環境に配慮した製品の開発 ②

限りある資源を守るために

コーセーでは使い終わった後の化粧品の容器包装を貴重な資源として再利用するために材質の選定に配慮したり、再生プラスチックや再生紙などリサイクル素材も積極的に採用しています。また、天然資源の枯渇に考慮して、非木材紙や再生紙の積極的活用も推進しています。

異なった材料を使った容器を分離しやすく ①

●ガラス瓶を採用しているインフィニティやプレディア スパ・エ・メールなどの製品では、ガラス瓶の部分とプラスチックの肩カバーを簡単に着脱できる機構を採用し、ガラス瓶のリサイクルをしやすくしています。

化粧品容器にもリサイクル原料を使用 ②

●プラスチック製の化粧品容器に再生樹脂原料を極力活用し、バージン材料の使用削減に努めています。特にPET(ポリエチレンテレフタレート)樹脂、PP(ポリプロピレン)樹脂、PE(ポリエチレン)樹脂、色見本サンプルや口紅成型カプセルに使用されるSAN(アクリルニトリルスチレン)樹脂、キャップ等に用いられるABS(アクリルニトリルブタジエンスチレン)樹脂、そして口紅の製造に使用するPS(ポリスチレン)樹脂、などがリサイクル原料を使用しています。

●化粧品の容器にリサイクル原料を積極的に使用していますが、コーセーコスメポート モイスチュアマイルドHAシリーズやコスマジック シリーズでは「PETボトル リサイクル推奨マーク」の認定を取得し、製品に表示しています。

3層構造の開発で再生樹脂の使用が可能に ③

●製品の性格上、バージン材料を使いたいファンデーションのレフィルの包装容器では、再生PET樹脂の両側をバージンPET樹脂ではさむ3層構造技術を開発、大幅な新規材料の低減につなげています。2005年からほとんどのレフィル容器で採用していますが、2008年度はボーテ ド コーセー アルティメーション シリーズのファンデーションなどが加わりました。

バキューム成形容器も再生樹脂を使用

●ファンデーションのレフィル容器に採用している3層技術を、バキューム成形の容器やプリスターカバーの一部にも活用しています。スポーツビューティ ファシオ、ホワイティストなどのブランドや店頭宣伝物のバキュームトレイへも応用しています。

非木材紙の利用 ④

●バガス(サトウキビの絞りかすを原料とした紙)やケナフ紙(1年草のケナフを原料とする紙)など木材のパルプを使わない非木材紙の活用も積極的に進めています。

2008年度もジルスチュアート シリーズのフルーツ&アルマミストやイルミナンスアイズなどでケナフ紙を使った1個箱を採用しました。

再生紙の活用 ⑤

●製品の1個箱や能書、パンフレット、ダンボール箱等化粧品の包装にまつわる全てのもので再生紙の使用率を高める努力を推進しています。現在ではほぼ全てのブランドで再生紙を使用していますし、能書も全て再生紙を採用しています。

箱能書の採用 ⑥

●製品の1個箱(外箱)の一部に化粧品の使い方など能書にあたる説明文を直接印刷し、紙による能書の添付をしない製品を増やす努力をしています。2008年度の能書削減効果は1,300万枚以上にのぼり、1枚を1.5gとして計算すると19.7tとなり、直径14cm長さ8mの樹木30本分となります。また、この30本の樹木が1年間に吸収するCO₂の量は8tにも及びます。

